

ねん がつ
2019年2月

しご こと
考古 No. 18



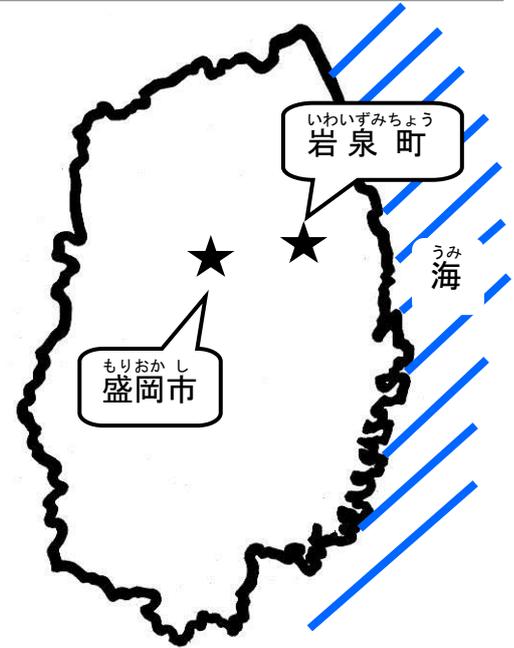
けんぱくものしりシート つり ばり 釣 針



チモト
いと むす
⇒糸を結びつける
ぶぶん
部分。

アグ(かえし)
はず
⇒エサが外れたり、
はり さかな くち はず
針が魚の口から外
れるのを防ぐ。

つりばり
釣針
いわいずみちよう も し かいづか
岩泉町 茂師貝塚



じょうもん じ だい ぎょぐ ぎょほう 縄文時代の“漁具”と“漁法”

いわて けんない さんりくかいがん ちゅうしん じょうもん じ だい かいづか ※1 ぶんぶ
岩手県内には、三陸海岸を中心に縄文時代の貝塚がたくさん分布してい
ます。また、貝塚からは、釣針・銚頭(魚をとるための柄のついた刺し具)・
骨ベラ(カキの身をむいたり、あわびをとる道具)などの漁具が見つかること
があります。昔から三陸海岸は、暖流と寒流がぶつかりあうとても恵まれ
た漁場に面しています。そのため、一年を通し
てたくさんの種類の魚がやってくるので、縄文
時代の人たちは“釣漁”“網漁”“銚漁”など、
いろいろな方法で魚をとってくらしていました。
とく さんりくかいがん す ひと つりりょう もりりょう
特に、三陸海岸に住む人たちは“釣漁”“銚漁”
の名医であったと考えられています。



※1: けんぱくものしりシート考古No.12をごらんください。

※2: 獲物に投げつけて刺さるとひもを通して銚頭だけが外れて体内に残ります。その後、ひもをたぐりよせて獲物をつかまえます。

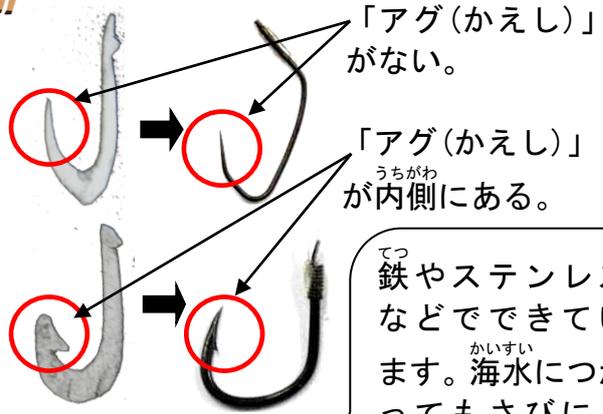


じょうもんじだい つりばり
縄文時代の釣針

シカの角が使われることが多く、「J」の字形をしています。「アグ(かえし)」が付いているもの、付いていないものなどがあります。



かたち つりばり
釣針
～形をくらべてみよう!!～



「アグ(かえし)」がない。

「アグ(かえし)」が内側にある。

てつ 鉄やステンレスなどでできています。海水につかってもさびにくい加工がされています。

つ さかな
釣られた魚たち

三陸の貝塚からは、イワシ類やサバ・アイナメ・カサゴ類などの魚の骨がたくさん見つかっています。また、マグロやカツオ・マダイなどの大型の回遊魚の骨も見つかります。



つりばり
釣針のつくりかた

- ①石器で切りわかる。②石斧で板状に割る。③釣針の形に削る。④石で磨いて仕上げる。



※硬いシカの角は、水をかけながら作業をすると石器でも削ることができます。
※1本の釣針を仕上げるのに、約7時間かかります。

釣針の“材料”は、縄文時代と現代ではずいぶん変わってしまいましたが、“形・機能”は縄文時代のころからほとんど変わっていません。また、

現在使われている“漁法”の大半は縄文時代にその原形ができたのだと考えられます。縄文時代ははるか昔のことであり、現代の生活環境と全く違うためつながりがないようにも思います。しかし、知らず知らずのうちに、数千年前の縄文時代の人たちの知恵や技術を受け継いでいるのです。

参考にした本 『紀要XXI』(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2002年/他
写真(縄文時代★) 『第8回国民文化祭記念第37回企画展図録 じょうもん発信』岩手県立博物館 1993年/他

らいげつ 来月(3月)の

けんぱくものしりシートは

れきし 歴史—18だよ!

おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。